

# 平成21年度 地域資源利用型産業創出緊急対策事業 農山漁村地域資源有効活用推進事業

## 秋田中央地区地域協議会

【技術】BTL  
【原材料】林地残材、もみ殻等  
【生成物】軽油代替燃料、電力

## 栗原地域バイオマス協議会

【技術】バイオガスの簡易な充填・運搬  
【原材料】食品残さ、汚泥  
【生成物】バイオガス(CH<sub>4</sub>)、電力、熱

## 加賀市バイオエネルギー生産地域協議会

【技術】ナノミスト化システムによるエタノール濃縮  
【原材料】廃菓子  
【生成物】バイオエタノール、電力

## バイオエコ筑波地域協議会

【技術】藻類BDF  
【原材料】たい肥工場排ガス中のCO<sub>2</sub>、N肥料、P肥料、藻類(ユーグレナ)  
【生成物】BDF

## 宮津バイオマス・エネルギー事業地域協議会

【技術】農林バイオマス3号機  
【原材料】竹  
【生成物】合成ガス(H<sub>2</sub>、CO)、メタノール、電力

## 利根川流域地域協議会

【技術】農林バイオマス3号機  
【原料】おから、コーヒーかす、利根川のイタリアングラス  
【生成物】メタノール、合成ガス(H<sub>2</sub>、CO)、電力

## 長崎バイオメタノール事業地域協議会

【技術】農林バイオマス3号機  
【原材料】建築廃材、林地残材、間伐材  
【生成物】合成ガス(H<sub>2</sub>、CO)、メタノール、電力

## 高槻市バイオコークス事業創出地域協議会

【技術】バイオコークス  
【原料】林地残材等  
【生成物】バイオコークス

## 福岡バイオ水素地域協議会

【技術】ブルータワー  
【原材料】製材残材、間伐材、建設廃材  
【生成物】水素ガス

## 山梨バイオマス利用推進地域協議会

【技術】デュアルフューエルエンジンによる木質ガス利用  
【原料】林地残材、間伐材、樹皮  
【生成物】木質ガス、電力、熱

# あなたの街をバイオスタウンに

## バイオスタウンとは

地域の関係者の幅広い連携の下、バイオマスを総合的に利活用している地域。バイオマスニッポン総合戦略に基づき「平成22年度に300地区」の目標達成に向け強力に推進している。

### 地域の状況の把握

バイオマスの種類は地域ごとにさまざま  
家畜排せつ物、食品廃棄物、下水汚泥、間伐材、  
水産加工残さ・・・

バイオマスの利用方法もさまざま

製品：たい肥、プラスチック  
エネルギー：ガス、電気

〔 バイオエタノール、  
バイオディーゼル燃料 〕

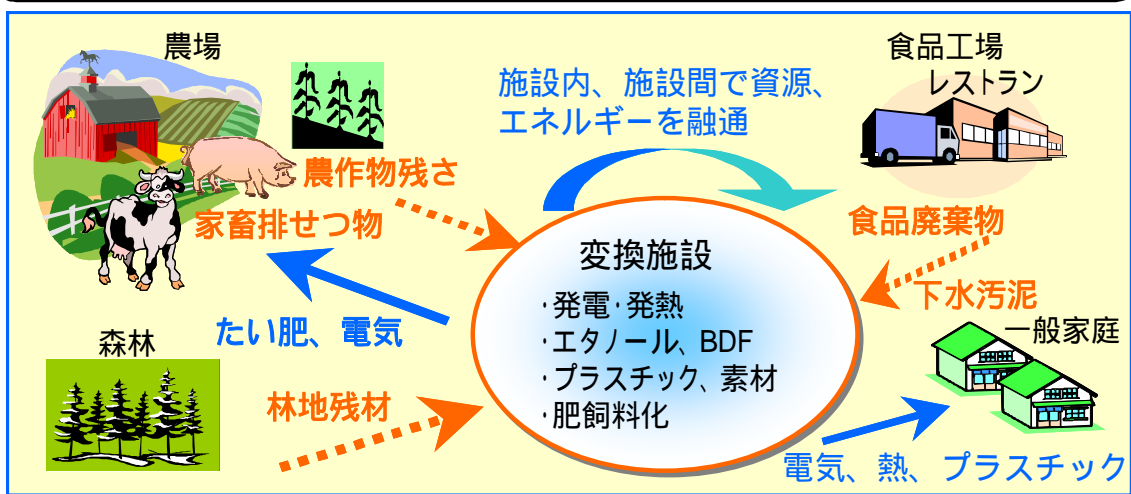
施策ニーズもさまざま

温暖化対策を進めたい、エネルギーの地産地消を進めたい、地元企業による活性化を進めたい・・・

### 検討事項

- ・関係者の協力体制
- ・地域の需要に対応した、様々なバイオマスの総合的利用方法
- ・効率的な収集・輸送、変換、利用のシステム
- ・無理のない運営

## バイオスタウンの構築



### これまでの実績

- 16年度：13地区
- 17年度：44地区
- 18年度：90地区
- 19年度：136地区
- 20年度：196地区
- 21年度：268地区
- 22年度：286地区

(22年11月末現在)

バイオスタウン  
平成22年度  
300地区を目標

# 主な取組みの例

## 新潟県佐渡市

### 地域資源の活用による「人とトキが共に生きる島づくり」

環境に優しく活力ある島づくりを目指し、木質バイオマス・廃食用油の利活用に取り組む。「島内の地域資源の活用で島内エネルギーを賄う島」が目標。



提供：佐渡とき保護センター

## 北陸

## 北海道下川町

### 森林と共生する低炭素社会の最先端

木質チップ・ペレット利用の経済的自立を実現するとともに、早生ヤナギの燃料化にも挑戦するなど、木質バイオマスリファイナリーを実現。



## 北海道

## 兵庫県加西市

### 地域循環のシンボル「菜の花列車」の走るまち

BDF鉄道・公用車をきっかけに、全市でのバイオマス利用等環境配慮型の健康で持続可能なライフスタイルの実現に向けた取組み。



## 近畿

## 岡山県真庭市

### バイオスタウンツアー発祥の地

木質バイオマス利活用施設等をめぐる「産業観光ツアー」により、都市・農村交流と地域の循環型産業の活性化を図ることでバイオマス産業振興を実現。



## 中国四国

## 沖縄県伊江村

### 農業を核とするバイオエタノールアイランド

地域資源を活用した「土づくり」による足腰の強い農業の実現と、バイオエタノール生産・利用等地域のバイオマス資源を有機的に循環させる取組み。



## 沖縄

## 大分県日田市

### 日本随一バイオマス資源の百貨店

市域の豊富なバイオマス資源を原料に、ガス化・木材チップ、飼料・堆肥化等、様々な利活用を実践する日本随一の取組み。



## 九州

## 岐阜県白川町

### 森林・エネルギーの地域循環を目指して

「東濃ひのき製品流通協同組合」が中心となり、製材所の端材・木くずをエネルギーとして有効利用。地域のエネルギー循環と、基幹産業である林業の活性化を実現。



## 関東

## 栃木県茂木町

### 「美土里」堆肥と農産物の地産地消

山林の落葉や農業由来の有機資源等を原料とする「美土里」堆肥で農産物を生産。地域ブランド化を成功させ、地産地消も実現。



## 東北

## 秋田県小坂町

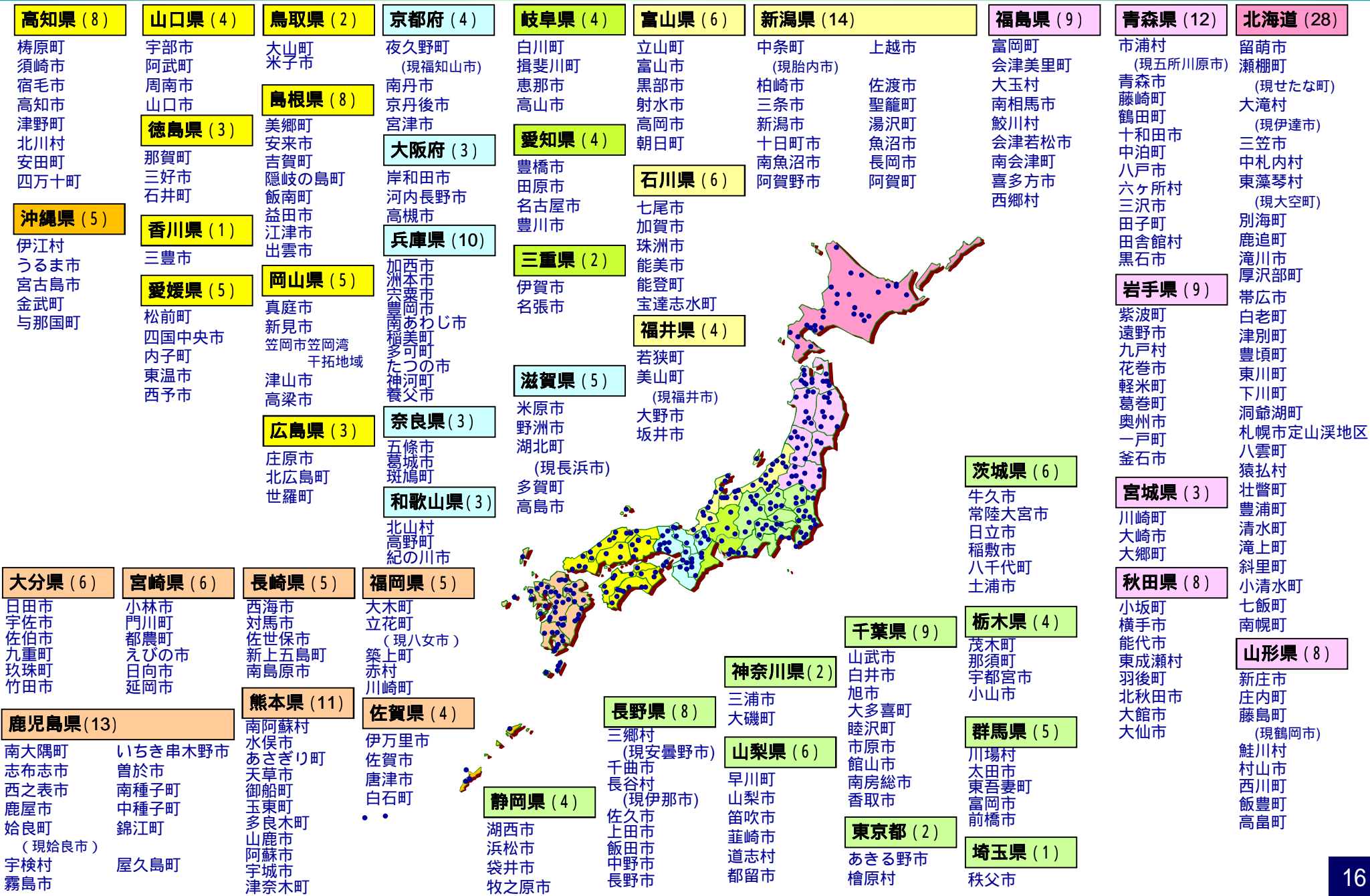
### 3R拠点の町が取り組むバイオマスの有効活用

鉱山・精錬業・リサイクル産業の拠点が、3Rの実績・経験を基に、菜の花プロジェクト等、地域に適した規模で資源循環の構築に取り組む。



## 東海

# バイオスタウン構想を公表した286地区 (平成22年11月末現在)



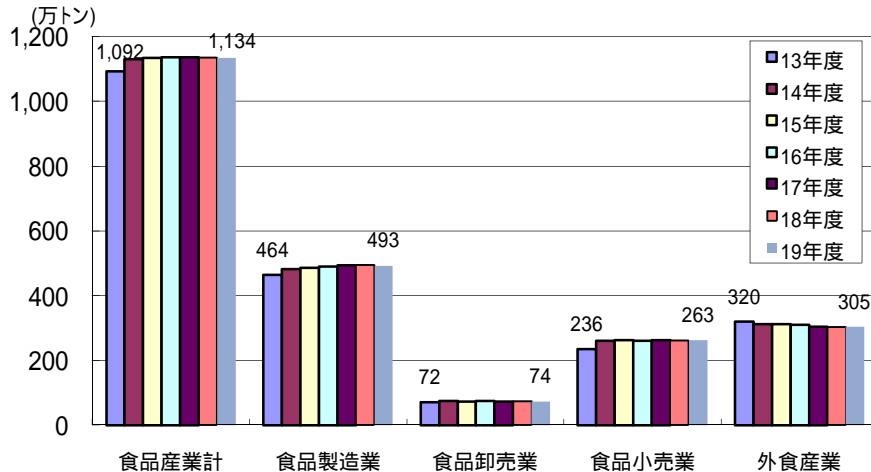
# 食品リサイクルの現状

食品リサイクル法が施行された平成13年度から19年度までの推移をみると、食品廃棄物の発生量が微増傾向にある中で、再生利用等実施率は上昇傾向にある。

食品流通の川下に至るほど、廃棄物の発生が少量分散型になるなど再生利用がしづらくなることから、食品製造業の再生利用等実施率は高いものの、卸、小売り、外食と順に低下していく。

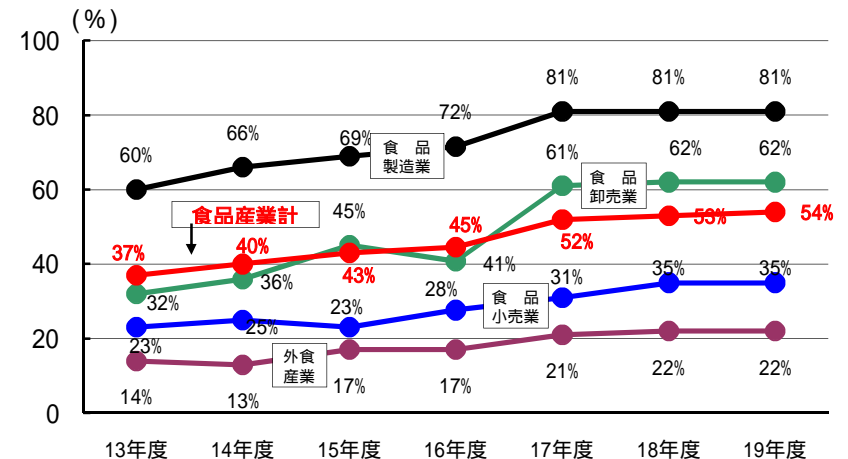
これらを踏まえ、食品関連事業者への指導監督の強化と再生利用の円滑化を図る観点から、平成19年に食品リサイクル法の改正が行われるとともに、個々の事業者及び平成24年度までに達成すべき業種別の再生利用等の実施率目標が導入された。

## 食品廃棄物の年間発生量の推移



資料：「食品循環資源の再生利用等実態調査報告」(農林水産省統計)

## 食品循環資源の再生利用等実施率の推移



資料：「食品循環資源の再生利用等実態調査報告」(農林水産省統計部)により計算

## 個々の事業者の再生利用等実施率目標

毎年度の基準実施率 = 前年度の基準実施率 + 前年度基準実施率に応じた増加ポイント

前年度の基準実施率区分	増加ポイント
20%以上50%未満の事業者	2%
50%以上80%未満の事業者	1%
80%以上の事業者	維持向上

平成19年度の再生利用等実施率が20%未満の場合は、20%として基準実施率を計算する。

## 食品循環資源の再生利用等の実施率 (平成19年度)

	年間発生量 (千t)	業種別実施率目標 (%)	再生利用等の実施率 (%)							
			発生抑制 (%)	減量 (%)	再生利用 (%)	(用途別仕向量)				
						肥料	飼料	油脂	メタン	
食品製造業	4,928	85	81	5	3	73	41	50	3	6
食品卸売業	736	70	62	4	1	56	69	23	7	
食品小売業	2,630	45	35	4	2	30	67	26	7	
外食産業	3,048	40	22	3	2	15	28	31	40	
食品産業計	11,343		54	4	3	47	46	43	7	4

資料：「平成19年食品循環資源の再生利用等実態調査報告」(農林水産省統計部)より計算  
注：計と内訳が一致しない場合があるのは、四捨五入のためである。

# 再生可能エネルギーの導入拡大のための連携

バイオマス等の地域内資源を有効活用した再生可能エネルギーの生産・利用の促進により、持続的で化石燃料の需給に左右されにくい農林水産業・農山漁村の実現等を目指すとともに、新たな雇用を創出。

## 将来ビジョン

### 再生可能エネルギーを最大限活用するスマートビレッジの実現

